寄贈品コーナー

平塚の地盤と活断層

期間：2013年 6 月 15 日（土）～ 7 月 30 日（火）

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災では、相模平野地域でも、平塚市岡崎・真田・根坂間、秦野市南鶴巻、茅ヶ崎市みずきなどで、地盤が沈下したり、液状化により砂が吹き上がったり、ブロック塀が倒壊したり、瓦が落下したり、電柱が傾いたりしました。被害が大きかったこれらの地区はいずれも台地を刻む小河川の谷戸で、かつての水田地帯であり、厚い軟弱地盤からなっている地域でした。この地震を契機に、博物館には、市民の皆様から地盤についての問い合わせが多数寄せられ、地盤に対する関心の高さがうかがえました。こうしたことから、博物館ではたびたび地盤に関する展示を行っています。2007 年に刊行した特別展示解説書「平塚周辺の地盤と活断層」と「平塚周辺の地盤図」(25,000 分の 1) は、震災後に売り切れてしまいましたが、要望が多いことから昨年、増刷いたしました。ここでは、拡大した「平塚の地盤図」を展示し、併せて、私たちの暮らす地域の地盤がどんな地形からなり、どのような地層からなっているのか、どういう地盤が軟弱地盤と呼ばれるのか、液状化はどういうところで発生しやすいのか、活断層はどこに走っているのかなど、私たちの住む平塚の地盤について展示します。なお、下記の日程で講演会も実施します。ご参加ください。

平塚の地盤に関する刊行物
図録「平塚周辺の地盤と活断層」(1000 円)
付図「平塚周辺の地盤図」(300 円)
受付にて販売しています。

講演会「地震と平塚の地盤
～軟弱地盤と活断層～」
日時：6月29日（土） 10時～12時
講師：当館学芸員　森 慎一
場所：講堂　　参加：自由